

## 東海経済レポート（2013年5月）

～景気持ち直しに向けて前進～

経済調査室（名古屋）

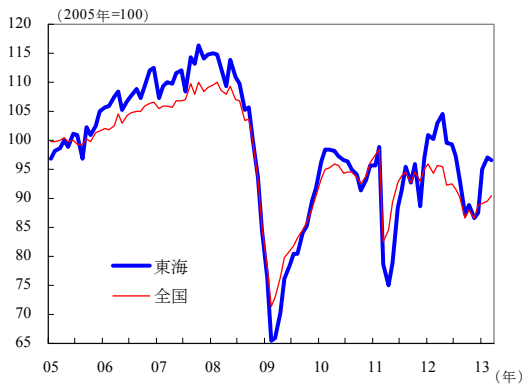
### 1. 足元の経済情勢

- ✓ 生産は、3月に前月比▲0.5%と4ヶ月ぶりに減少。主力セクターである輸送機械が4ヶ月ぶりにマイナス。
- ✓ 輸出は、3月に前月比▲0.2%とほぼ横ばい。急減していた中国向けは、1月以降持ち直しつつある。
- ✓ 設備投資では、設備投資の先行指標である金属工作機械の国内受注額が、3月は前年比▲39.6%と10ヶ月連続でマイナス。
- ✓ 雇用では、3月の愛知県の有効求人倍率が1.20倍と2008年11月以来の水準にまで上昇。他県も上昇に転じた。
- ✓ 個人消費では、3月の新車販売台数が前年比▲12.2%と7ヶ月連続のマイナスになったが、同月のスーパー・コンビニ等小売主要3業態の販売は前月比+3.4と2ヶ月連続のプラス。住宅着工は昨年6月を底に増加基調で推移。

### 2. 当面の注目点・リスク要因

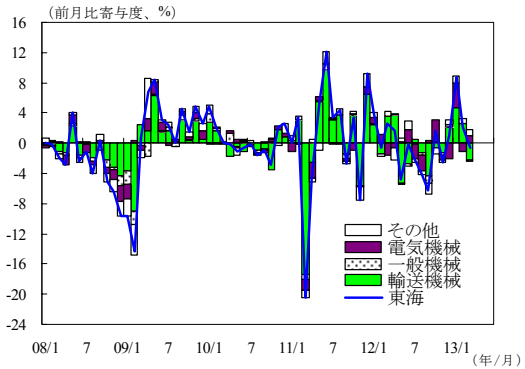
- ✓ 円安・株高を受けて家計のマインドが大幅に改善し、足元の個人消費支出は好調である。一方、もう一方の内需の柱たる設備投資は力強さに欠ける状況。
- ✓ 今後、円安の効果が浸透するにつれ、輸出数量は増加すると予想される。また財政面でも、2012年度補正予算が執行され、公共投資を中心に2013年度前半の経済成長率を押し上げる見通し。
- ✓ 当面はTPP交渉を前進させつつ、6月公表予定の成長戦略を着実に実行してゆくことが重要。企業および家計がデフレ脱却への自信を深め、国内設備投資や賃上げが誘発される状況を作り出すことが、持続的成長実現のための必要条件である。

**生産①** 3月の鉱工業生産指数は前月比▲0.5%と4ヶ月ぶりに減少。



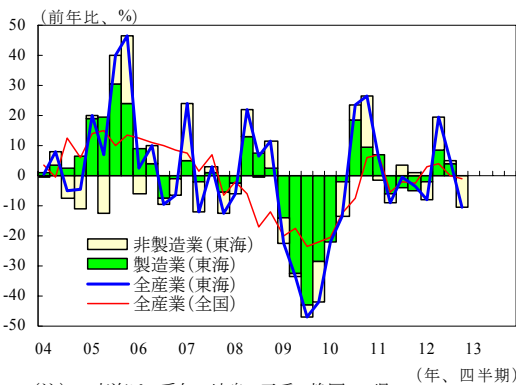
(注) 東海は愛知・岐阜・三重の3県  
(資料) 中部経済産業局「管内鉱工業の動向」等より  
三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

**生産②** 業種別では、電気機械が増加した一方、輸送機械と一般機械が減少。



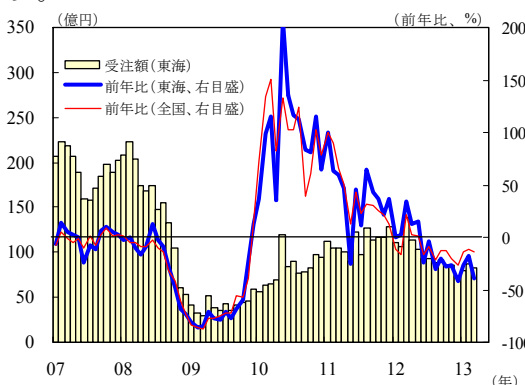
(注) 1. 季節調整値  
2. 東海は愛知・岐阜・三重の3県  
3. 電気機械は電子部品・デバイス等を含む旧分類  
(資料) 中部経済産業局「管内鉱工業の動向」より  
三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

**設備投資** 10-12月期の資本金10億円以上の大企業の設備投資(除くソフトウェア)は、前年比▲10.3%とマイナスに転じた。



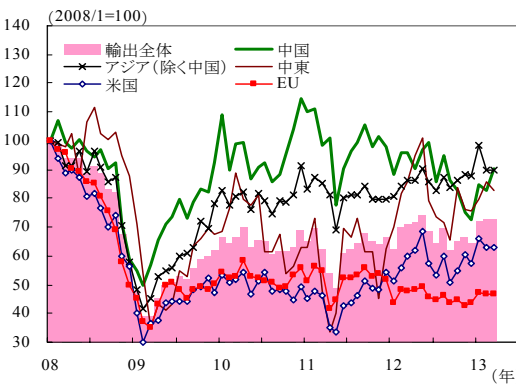
(注) 1. 東海は、愛知、岐阜、三重、静岡の4県  
2. 資本金10億円以上の企業を対象  
(資料) 東海財務局「四半期別法人企業統計調査」より  
三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

**金属工作機械受注(国内)** 設備投資の先行指標である金属工作機械の国内受注額は、3月は前年比▲39.6%と10ヶ月連続で減少。



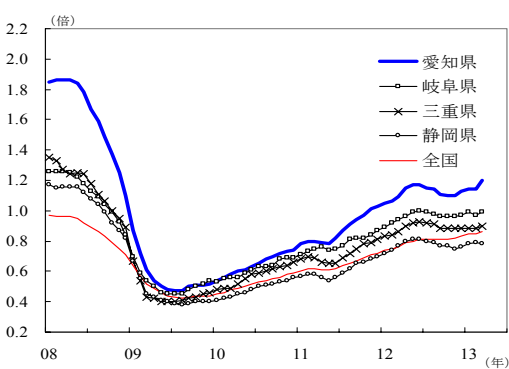
(注) 1. 東海は中部経済産業局管内の主要8社  
2. 受注額は当室による季節調整値  
(資料) 中部経済産業局「金属工作機械受注状況」等より  
三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

**輸出** 3月の輸出額は、前月比ほぼ横ばい。急減していた中国向けは、1月以降持ち直しつつある。



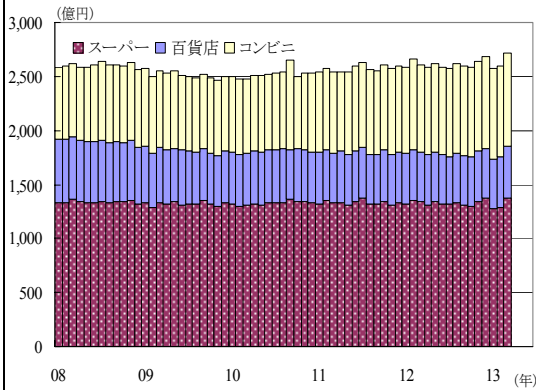
(資料) 財務省「貿易統計」、名古屋税関「管内貿易概況」より  
三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

**雇用** 3月の愛知県の有効求人倍率は1.20倍と、2008年11月以来の水準にまで上昇。他県も上昇に転じた。



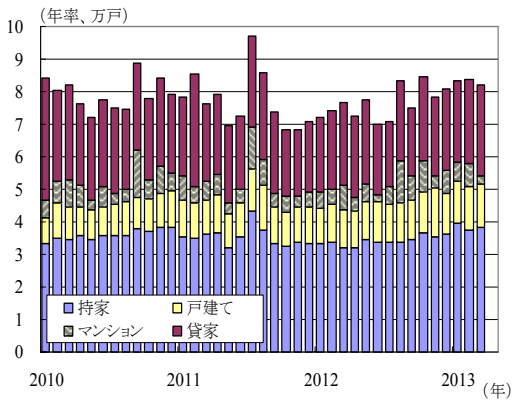
(注) 1. 有効求人倍率=有効求人数/有効求職者数  
2. 季節調整値  
(資料) 厚生労働省「一般職業紹介状況」より  
三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

**個人消費** 3月の小売主要3業態の販売は前月比+3.4%と2ヶ月連続のプラス。



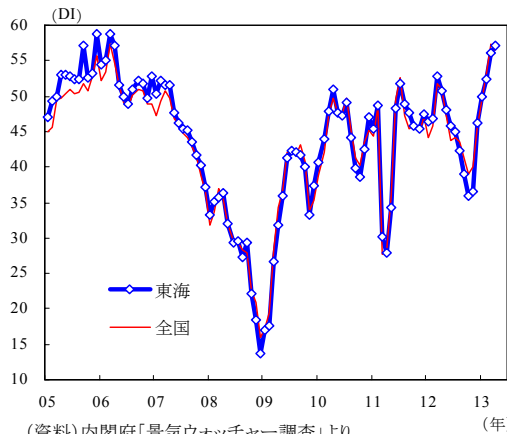
(注) 東海は愛知・岐阜・三重・富山・石川の5県  
(資料) 中部経済産業局「管内大型小売店販売概況」より  
三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

**住宅投資** 3月の住宅着工戸数は年率換算で約8.0万戸超のペースを維持しており好調。



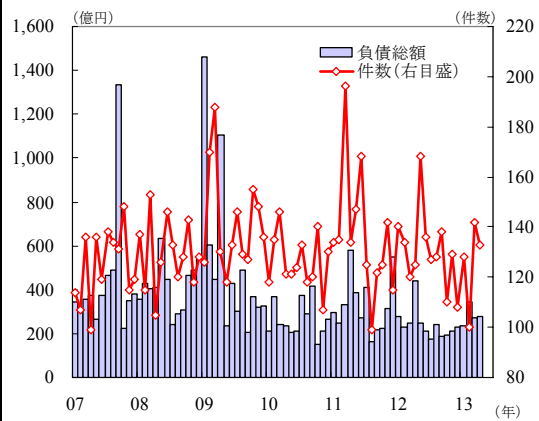
(注) 東海は愛知・岐阜・三重の3県  
(資料) 国土交通省「建築着工統計」より  
三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

**景気ウォッチャー調査** 4月の景気現状判断DIは+57.1まで改善し、リーマンショック後の最高水準を更新した。



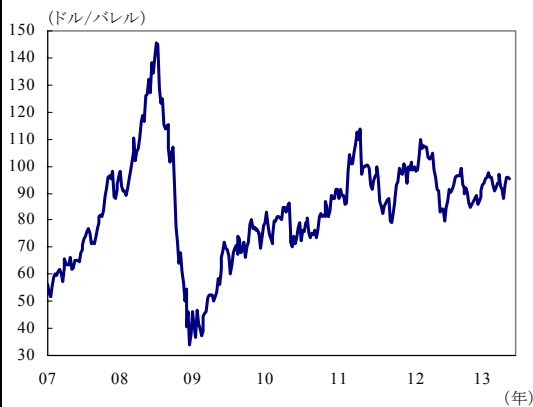
(資料) 内閣府「景気ウォッチャー調査」より  
三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

**倒産件数** 4月の企業倒産件数は133件と減少(前年比で+6.4%)。負債総額も同▲37.1%と減少。



(注) 愛知・岐阜・三重・静岡・長野の5県  
(資料) 東京商工リサーチ「倒産月報」より  
三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

**原油価格** 中国の景気減速が続き、95ドル半ばまでの水準で頭打ち状態。



(注) 原油価格はWTI先物  
(資料) Bloombergより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

**円相場・株価** 円相場は、日銀の積極的金融緩和と好調な米国経済指標を背景に、100円台前半まで下落。株価は、デフレ脱却・円安等による企業業績の改善期待が高まり大幅上昇。



(資料) Bloombergより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

(H25.5.21 富田 潤 jiyun\_tomida@mufg.jp)

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の売買や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当室はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されています。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。